※令和３年度以前入学生用

学校番号	４０７

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新政治・経済　新訂版（清水書院）						
副教材等	プリント教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ただ教科書の内容を記憶するだけの学習ではなく、授業で得た知識に関する自分なりの考えを持ち、現代社会をよりよくするために、それをどう生かしていくかしっかりと考察すること。

２　学習の到達目標

・現代の政治・経済における諸問題に対する正しい知識を獲得し、現代の諸問題に対する自分なりの考えをもち、それをどう実践していくかを考察させる。
・国際社会に生きる一員として自覚を持ち、自己のあり方生き方について考察させる。
・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立ち、現代の社会と人間とのかかわりについて考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治経済に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に協力する態度を身に付け、人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の政治経済に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治経済にかかわる事柄に関する諸資料を正しく読み解き、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治経済にかかわる基本的な事柄を正しく理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・ノート ⇒提出状況・内容	・定期考査 ・ノート ⇒提出状況・内容	・定期考査 ・ノート ⇒提出状況・内容	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の国際政治	・国際社会はどのような歴史を経て成立し、どのように変化していったのか。 ・現代の国際社会は、どのような枠組みをもって平和を維持しようとしているのか。 ・第二次世界大戦後から、どのように平和をつくりあげるための組織を構築していったのか。	○	○	○	○ ○ ○	a:現代の国際社会に関する諸課題を追究し、それをどう解決するかを考察している。 b: 現代の国際社会に関する諸課題を正しく見いだし、その本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断しているか。 c:国際社会にかかわる諸資料を正しく読み解き、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 国際社会に関する基本的な事柄を正しく理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート
	日本の平和主義・国際平和	・日本の平和主義について ・平和を実現するために政府はどのような枠組みを構築してきたか。 ・世界の平和を維持するための日本の役割について	○	○ ○	○ ○	○	a:現代の平和主義に関する諸課題を追究し、それをどう解決するかを考察している。 b:現代の平和主義に関する諸課題を正しく見いだし、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 現代の世界平和にかかわる諸資料を正しく読み解き、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d:世界平和に関する基本的な事柄を正しく理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート

※令和３年度以前入学生用

2学期	現代経済のしくみ	・資本主義の成立過程について ・社会主義と資本主義の問題点について ・現代の資本主義経済のあり方について	 ○	 ○ ○	○	○ ○	a: 資本主義・社会主義の長所と短所に対する関心を高め、現代の経済状況をどのように改善していくかを考察している。 b: 資本主義・社会主義それぞれの課題を見いだし、様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 資本主義・社会主義に関する歴史、社会的事象に関わる諸資料を正しく読み解き、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 資本主義・社会主義にかかわる基本的な事柄を正しく理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート
	現代の日本経済と国際経済	・戦後、日本経済はどのように立ち直ったかについて ・日本が経済大国といわれるまでの過程について ・現代の国際経済のあり方について ・現代の日本経済の問題点とその解決方法について	 ○ ○	 ○ ○	○	○ ○ ○	a: 日本経済に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国際経済に関わる人間としての自覚を深めようとしている。 b：国際経済と日本経済に関わる事柄から課題を見いだし、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日本経済にかかわる事柄に関する諸資料を正しく読み解き、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：経済にかかわる基本的な事柄を正しく理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート

※令和３年度以前入学生用

3学期	現代社会の諸課題	・日本の地域社会の変貌と産業構造の変化について ・雇用と労働をめぐる諸問題について ・人種・民族問題と経済格差、その解決のための国際協力について	○ ○	 ○ ○	○	 ○	a: 現代の政治経済に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b:現代の政治経済に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している c:現代の政治経済にかかわる事柄に関する諸資料を正しく読み解き、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 現代の政治経済にかかわる基本的な事柄を正しく理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。